

都市再生整備計画 事後評価シート
柳井駅周辺地区

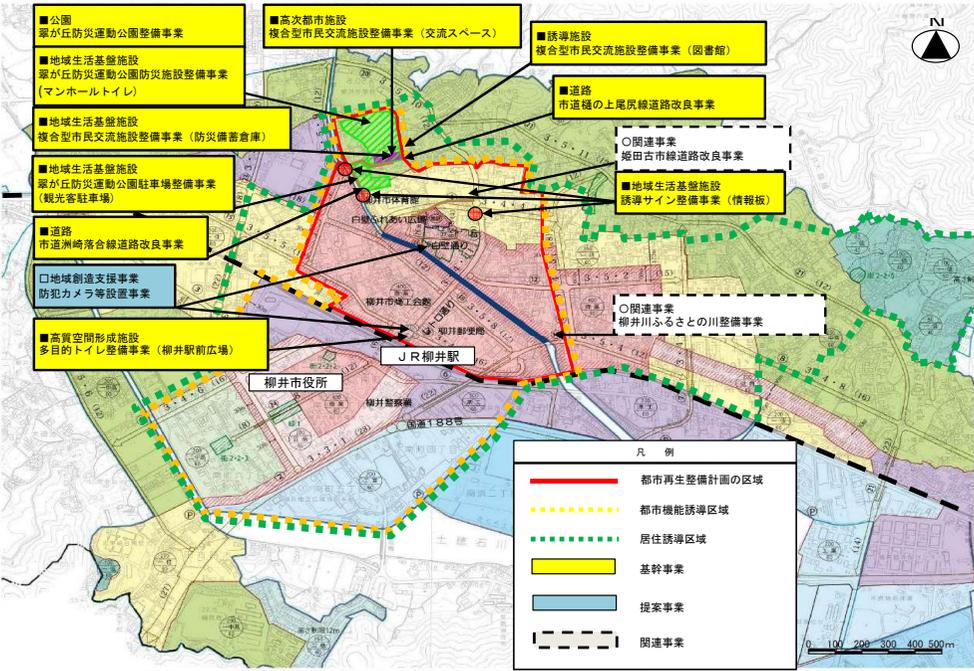
令和8年2月

山口県柳井市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	柳井市		地区名	柳井駅周辺地区			面積	69.9 ha
交付期間	令和1年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	2,294.4百万円	国費率	0.493		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道洲崎落合線道路改良、市道樋の上尾尻線道路改良)、公園(翠が丘防災運動公園整備事業)、地域生活基盤施設(防災施設整備事業、駐車場整備事業)、高質空間形成施設(多目的トイレ整備事業)								
		提案事業	地域創造支援事業(防犯カメラ等整備事業)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	まちづくり活動推進事業(コミュニティサイクル事業)		事業実施に当たって、運用体制が整わなかったため			影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活支援事業(誘導サイン整備事業【情報板】、複合型市民交流施設整備事業【マンホールトイレ】【防災備蓄倉庫】)、高次都市施設(複合型市民交流施設整備事業【交流スペース】)、誘導施設(複合型市民交流施設整備事業【図書館】)		都市構造再編集中支援事業への移行に伴い、これまで関連事業で複合施設として整備を行うこととしていた図書館の要件が整ったことにより、基幹事業へ新たに位置付けることとしたため			影響なし			
		提案事業									
交付期間の変更	当初	平成31年度～平成34年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
	変更	令和1年度～令和6年度									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値				
	指標1	計画地区内の居住人口	人	2.2千人	H29	2.2千人	R6	2.1千人	△	あり なし	● 目標値を達成できなかったが、平成23年度の2.2千人(2,234人)から、従前値の基準年度である平成29年度の2.2千人(2,175人)までの減少率3%に対し、従前値の基準年度から目標年度である令和6年度の評価値が2.1千人(2,136人)で減少率が2%であったことから、減少に一定の歯止めを図れている。
指標2	防災機能を備えた避難場所の収容人数の割合	%	0%	H29	68%	R6	148%	○	あり なし	● 目標を達成している。目標達成の主な要因として、本施設においては、整備後、新たな防災拠点として位置付けを行うこととしたことから、整備計画策定後も、市民会議等で意見聴取を図りながら、避難場所の計画の見直しを行い、収容人数の増加、防災施設の設置など、防災機能の拡充に努めてきたことによる。	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値				
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	図書館(複合型市民交流施設)や公園施設の整備により、年代や性別を問わず、誰もが集まれる場所となり、交流人口の拡大やにぎわいづくりが促進された。										
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組	地元商工会議所からの要望を踏まえた整備を行ったほか、利活用に向けた意見交換を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備した図書館や防災運動公園と市街地との連携による地域の活性化につながるよう今後も地元商工会体等と連携を図る。			
	持続的なまちづくり体制の構築	事業推進に当たり民間有識者等の意見を踏まえた整備を行うため、各種会議等を開催した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 都市機能の維持・集積や安心安全な居住環境を守り、市街地のにぎわい創出に努めるよう、関係機関と連携を図る。			

様式2-2 地区の概要

柳井駅周辺地区(山口県柳井市) 都市再生整備計画事業の成果概要										
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値				
大目標:暮らす人や訪れる人にとって、快適なまちづくり ○地域の防災性、防犯性の向上による安全・安心のまちづくり ○交通環境の改善、地区の交流活動の場となる公園の整備による中心市街地のにぎわいの再生		計画地区内における居住人口	単位:人	2.2千人	H29	2.2千人	R6	2.1千人	R6	
		防災機能を備えた避難場所の収容人数の割合	単位:%	0%	H29	68%	R6	148%	R6	
			単位:		H		R		R	
			単位:		H		R		R	
			単位:		H		R		R	
複合型市民交流施設整備事業(図書館) 				市道洲崎落合線道路改良事業 		翠が丘防災運動公園整備事業 		翠が丘防災運動公園駐車場整備事業(観光客駐車場) 		
多目的トイレ整備事業(柳井駅前広場) 				誘導サイン整備事業(情報板) 						
まちの課題の変化		運動機能や防災機能を備えた公園の整備により、オープンスペースの確保につながった。 図書館の整備により、図書館利用者が計画地区内を通行する機会が増加し、人流に変化がみられた。 子育て世代から高齢者まで幅広い世代に対応した多目的トイレや道路の整備により、安心して住み続けられる環境づくりに変化がみられた。 防災機能を備えた公園の整備により、防災に対する市民の意識に変化がみられた。 市道の整備によって、安全性の確保及び災害時における、緊急物資の輸送の確保につながった。 駐車場の整備により、柳井北側エリアにある既存の集会施設、運動施設などの交流施設に訪れる際の駐車場不足解消につながった。								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		にぎわいの持続や新たなにぎわいの創出のために民間事業者との連携を行っていく。 安全で安心して住み続けられる環境づくりのため、道路や施設の管理者による適正な維持管理や地元自治会と連携した維持管理を実施していく。 防災機能の周知のため、地元自治会との防災訓練や民間事業者との連携した防災機能の強化を実施していく。 居住人口を抑えるための居住誘導として、転入を促進する施策の検討や空き家・低未利用地の活用をしていく。 組織間でのさらなる連携を図り、事業にとらわれないまちづくりを継続して進めていく。								